

地域美産研究会ニュース No.105

発行：平成 27 年（2015 年）4 月 11 日

第 105 回催事 地域美産研究会

『鎌倉から葉山の近代建築を訪ねて』

実施期日：平成 27 年 5 月 16 日（土）・17 日（日）

10 年前の平成 17 年 4 月など何度か当会でも企画されております「鎌倉」を、ゆっくり歩きながら再訪します。今回は「逗子マリーナ」に宿泊をして 2 日目は葉山に向かいます。

鎌倉駅から由比ヶ浜通りを歩き、大正末期から昭和初期に建てられた趣のある建物を見ながら「吉屋信子記念館」に向かいます。吉田五十八設計による建物です。

次に旧前田侯爵家別邸である「鎌倉文学館」でバラの咲く庭を見ながら昼食を摂ります。その後、長谷の方に向かい、「葛原岡・大仏ハイキングコース」を歩きます。途中カフェテリアで休息の後、駅に向かい鎌倉駅で夕食の買いものを済ませ「逗子マリーナ」で夜をゆっくり過ごすことにします。

2 日目は、こちらにも吉田五十八の設計による「山口逢春記念館」を観てから「神奈川県立近代美術館葉山館」に立ち寄り、館内の眺望のすばらしいレストラン「オレンジ・ブルー」で昼食をとり、葉山御用邸付属邸跡地に整備した「葉山しおさい公園」を散策します。

鎌倉というと寺社参観というイメージがありますが、町に残る近代建築を巡りながら現在の町並みについて考えてみようと思います。ご参加お待ちしております。



鎌倉文学館



吉屋信子記念館

探訪予定コース

（1 日目）

鎌倉駅→御成小学校→由比ヶ浜通り（魅力的な建物・商店がたくさん）→吉屋信子記念館→鎌倉文学館（昼食）→（ミニハイキング）→樹（いつき）ガーデン→佐助稲荷→鎌倉駅→逗子マリーナ（夕食：宿泊）

（2 日目）

逗子マリーナ（朝食）→逗子駅（バス乗換）→山口逢春記念館→神奈川県立近代美術館葉山館（昼食：オレンジ・ブルー）→葉山しおさい公園→逗子駅（解散）

第 105 回催事 『鎌倉から葉山の近代建築を訪ねて』

探訪会

日 時	平成 27 年 5 月 16 日（土）11：00～ 平成 27 年 5 月 17 日（日）14：30 頃迄
集 合 時 間 ・ 場 所	11：00 鎌倉駅 東口交番横集合
探訪コース（予定）	（1日目） 鎌倉駅→御成小学校→由比ヶ浜通り（魅力的な建物・商店がたくさん） →吉屋信子記念館→鎌倉文学館（昼食）→（ミニハイキング）→樹（いつき）ガーデン→佐助稲荷→鎌倉駅→逗子マリーナ（夕食：宿泊） （2日目） 逗子マリーナ（朝食）→逗子駅（バス乗換）→山口逢春記念館→神奈川県立近代美術館葉山（昼食：オランジュ・ブルー）→葉山しおさい公園→逗子駅（解散）
企 画 と 案 内	渡辺 久剛 神尾 守
今 回 の ポ イ ン ト	① バラの咲く鎌倉文学館のお庭で昼食を撮ります。（1日目：お弁当各自持参） ② ミニハイキングの後、絶景のカフェテリアで休息します。ひと呼んで「天空のテラス」 ③ 逗子マリーナに宿泊します。（食べたいものを持ち込んでわいわいやりましょう。） ④ 吉田五十八の建物2棟に入館します。その他、「登録有形文化財」もたくさんあります。 ⑤ 2日目の昼食はオーシャンビューのレストランです。
参 加 人 数	15 名（会員優先）（事前予約必要）
探訪会等の参加費	3 ページ参照 *今回の参加費等は現地で徴収させていただきます。
注 意 事 項	ミニハイキングを予定していますので、歩きやすい服装・靴でご参加ください。
遅 刻 等 の 連 絡	090-8648-5896（渡辺） 090-7404-0729（神尾）

第105回催事

『鎌倉から葉山の近代建築を訪ねて』参加申込書

記入日：2015年 月 日

① **5月5日(火)迄**にこの申込書をメール、FAX(045-361-0461)、郵送で。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				
住所						
生年月日	大正/昭和/平成 (西暦) 年 月 日					
会員資格	①会員 ②家族会員 ③法人会員 ④学生会員 ⑤一般(非会員) ⑥地元関係者					
Tel(自宅)		Fax				
Tel(携帯)		e-mail				
②家族会員と③法人会員は、2名まで当該会員料金で参加可能。						
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				

② 参加記入欄(該当金額欄に○を付けて下さい)

	1	探訪会	2	交歓会	3	寄付(任意)	4. 合計
会員		1,000					
家族会員(1名分)		1,000					
法人会員(1名分)		1,000					
家族/法人会員の+1名		1,000					
*学生と地元関係者		1,000					
一般(非会員)		1,500					

*今回探訪会参加費および宿泊費・夕食代は現地で徴収させていただきます。

宿泊費・夕食代は、参加者による折半となりますが、概ね7,000円~8,000円の見込みです。

参加申込と受付 会員優先で申込先着順とします。以下の申込手続きに従って申し込んでください。

1. 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
2. 申込締切日：5月5日(火)
3. 郵便宛先：〒241-0836 横浜市旭区万騎が原71 電話・FAX：045-361-0461
メールアドレス：toshie@cc.catv-yokohama.ne.jp

Public Art Forum 地域美産研究会とは

日頃人々が生活する場に創り遺された地域の社会美産*たちを、専門家と一緒に現地に訪ね、歴史と文化、地域性や国際性、美や技、景色などの視点から眺めて味わい、地域の魅力を再発見・再評価する。

(※社会美産と地域美産：パブリックアートの視点を広げる為の新造語)

地域の魅力再発見・再評価を通して、改めてその土地ならではの歴史や暮らしに愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実安心を得て、自分づくり、家族との絆づくり、仕事づくり、会社づくり、街づくり、国づくりに役立つ何かを見付けながら、仲間達との交歓を楽しむ会員制非営利任意団体です。

会員入会者・催事参加者は、学生・社会人・各分野の専門家など時には外国人を含む幅広い人々が分け隔てなく参加して、各人ならではの参加意図に適った充足感を味わっています。

地域美産研究会は、街づくり景観づくりに関係する地方自治体や都市デザイン・アート分野の人々が集い活動した「パブリックアート・フォーラム」(平成6年～13年、代表幹事 田村 明)を継承した会で、非会員の方々も活動に参加できます。



Public Art Forum 地域美産研究会 設立のきっかけ

パブリックアート・フォーラムは、平成14年(2002)12月迄の過去10年間、美術館から街中に出て、各地の街角や広場に設置された彫刻に代表されるパブリックアートたちに焦点を合わせて、もっぱら欧米におけるそれらの役割・効果を調べて、普及・研究活動を行ってきました。

その後、米国のパブリックアート著名作家 マヤ・リンが、伊勢神宮を日本の優れたパブリックアートとして挙げたこと、環境美学研究家バーバラ・サンドリッセがその著述「パブリックアートとしての鳥居、その不思議な魅力(2000年刊)」で、日本の鳥居をパブリックアートとして大変高く評価したこと、平成13(2001)年、女史の来日を記念して開催した特別フォーラム「バーバラ・サンドリッセと都心の鳥居を探訪し、女史の話を聞く会」での体験が、パブリックアートに対する私達の視点を大きく広げて、新しい活動を促しました。



私たちがごく身近に古くから在って、地域の生活と密接に係わりながらその地の生活文化を創り育て、人々の心の拠り所になってきた、その地ならではの美しき良きモノたちを、従来型のパブリックアートを含めて現地に訪ね、肌で味わい評価する。それらの再発見・再評価を通じて、地域の暮らしと歴史に愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実・安寧を得ながら次代を生き抜く力とする。「Public Art Forum 地域美産研究会」(昨年度迄は「地域美産研究・探訪会」)は、このような主旨から平成14年12月1日に設立された活動団体です。

運営：アドバイザー・会員等の意見・提言を受けて「世話人会」が運営を担う。

(1) 世話人会

代 表	表： 藤嶋俊會	(美術評論家)
副 代 表	表： 伊豆井秀一	(埼玉県立近代美術館専門員兼学芸員)
世 話 人	人： 石村誠人	(駅・街デザインとパブリックアート研究家)
	渡辺久剛	(会計：三井不動産ビルマネジメント(株))
	橋本 完	(アート・インキュベータ：アトリエまほろ主宰)
	渡部伍郎	
	宝利 修	(ITアドバイザー：ぶんか合同会社プランナー)

(2) アドバイザー

後藤元一	(環境設計家、元札幌市立高専教授)
建畠 哲	(美術評論家、埼玉県立近代美術館館長)
山岡義典	(市民社会創造ファンド 運営委員長)